

事業計画書

令和7年度

令和7年4月1日～令和8年3月31日

株式会社ソレイユの樹

サン・ベビールーム

1. 基本方針

認可保育所として平成 30 年施行「保育所保育指針」に則った保育の実現に努めるために、特に以下の点に注力する。①施設の構造や設備と展開可能な保育内容について、全職員の共通課題としての取り扱い。②保護者意見を保育所運営に反映させる保護者委員会の開催および在籍家庭への報告書提示等。③キャリアアップ研修をはじめとした外部研修受講の推進。④自己評価とフィードバックの実施。⑤キャリアパスに基づいた職員の個別育成計画の策定。⑥職場体験、育児体験、保育体験等の受け入れを行う。

防災機能強化推進として、上級救命救急受講および再受講の推進等による職員全体の防災意識の向上を図る他、毎月の避難訓練、消火訓練、伝言ダイヤルを活用した引取訓練等の実地訓練、蓄電池の使用や備蓄食の体験など、有事の的確な災害活動推進訓練に努める。

令和 7 年度より新しくなる世田谷区保育の質ガイドラインを活用した職員による自己評価および園評価の実施、全国保育士会「保育所・認定こども園における人権擁護のセルフチェックリスト」を用いた保育の振り返り、SIDS および SUDI 予防チェックリストや安全点検チェックリストを用いた安全対策、保育ネット世田谷や中学校区による学び舎への参加等により世田谷ならではの情報や地域組織との連携を図り、世田谷区の認可保育所としての保育を行う。

また、令和 6 年度保育所一般指導検査で文書指摘となった会計経理についての理解を深め、正しい会計処理となるよう尽力する。

2. 重点目標

- (1) 全ての職員が個人として、チームとして、園全体としての適切な保育の維持および保育の質の向上を図る。
- (2) お子さんの情緒の安定を基盤とした主体的な活動、社会性の獲得を促す。
- (3) 保護者の皆さんの養育力向上を支援する。
- (4) 子育ての専門的施設として保育所保育指針を遵守する。
- (5) 日々の生活における経験を基に、生きる力の根幹となる心情・意欲・態度を育む。

3. 保育理念

【子どもは未来のその子自身からの預かりもの】

「大人」と呼ばれる私たちの今の姿は、「こども」と呼ばれていた頃の経験があつてこそ。こどもの今は、未来のその子自身につながります。

『未来のその子にとってより良い今であってほしい。より多くの人やモノと出会い、「楽しい!」「嬉しい!」と感じ、「やってみたい」気持ちが自然と湧き上がり、実際にやってみる。そんな子ども時代を過ごしてほしい。同時に未来に悪い影響を残すようなことはあってはならない。』

こうした考えのもと、お子さんたちの日常を大切にしています。

4. 保育方針

【子どもの最善の利益を”常に”追及する】

家庭生活と集団生活との双方がお子さんにとって最も良い状態であるよう、ご家庭との連携を常に緊密に円滑に保ち、ご家庭と共に保育を展開する。

5. 保育目標

【生きる力の根幹となる、心情、意欲、態度を育む】

目指す子ども像：①意欲に満ちあふれた子ども ②自分が好き、人が好きな子ども
③楽しさを見つけ出す子ども ④伝え合うことに喜びを感じる子ども ⑤感じる心の豊かな子ども

6. 保育活動

(1) 保育園の運営

- ・ 所在地：東京都世田谷区三軒茶屋二丁目 5 番 5 号 クレール三軒茶屋 1 - 2 階
- ・ 児童定員：26 名、0 歳児…6 名、1 歳児…10 名、2 歳児…10 名

(2) 開所時間

- ・ 11 時間開所保育時間：午前 7 時 15 分から午後 6 時 15 分
- ・ 延長保育時間：午後 6 時 16 分から午後 7 時 15 分（月～土）

(3) 閉所日

日曜日、祝日、年末年始（12/29～1/3）

(4) 職員配置（令和 7 年 4 月 1 日現在）

- ・ 常勤職員：17 名：
園長(1) 主任保育士(1) 保育士(11)
看護師(1) 栄養士(2) 調理師(1)
- ・ 非常勤職員：8 名：
保育士(3) 子育て支援員(1) 保育補助(2) 看護師兼保育士(1)
事務補助(1)
- ・ 嘱託医：1 名

(5) 保育内容

0 歳児 3 名の空きがある他、配慮の必要な児童が在籍することとなる一方、令和 6 年度当初よりも保育士数が多い中で新年度を迎える。引き続き保育者の在宅ワークタイム制度を継続し、ノンコンタクトタイムの定着を図ることで、教材準備や保育計画検討の時間を確保し、豊かな保育活動に繋げていく。

慣れ保育の初日に保護者の都合上可能であれば「保護者とお子さんが一緒に過ごす時間」を設定する。保育計画についてはクラス単位による年間、月間、週日案を作成し、各種会議においてその経過観察と必要に応じた補正や調整を行い、園やクラスの実情にあった保育活動を計画的に実施する。保育の評価・反省をクラス MT、係会、全体 MT にて報告し合う他、日々の情報は LINE Works を活用して園全体での共有を図る。

避難訓練は園児と保育者の実態に即した内容で実地訓練を行い、各クラス等から寄せられる評価・反省を踏まえて次の計画へと繋げる。

令和7年度は大豆、卵といった食物アレルギーを有するお子さんの他、食事に個別的配慮が必要なお子さんが在籍するため、食育係を中心に事故のない安全な給食・食育を展開する。

園児同士のトラブルによる受傷事故については、保護者に今一度、集団保育についての理解を得られるよう努め、クラス担任および安全係が一体となって発生数の抑制、心身への傷跡を残さないための処置の徹底を図る。

7. 保護者支援

(1) 日常における支援

送迎時には和やかに日常的なやり取りを行い、信頼関係を築くことでご家庭と同じ方向を向きながらお子さんの育ちを援助する。また、匿名で要望内容等を連絡する方法として玄関のご意見箱設置と共に建物の郵便受けへの投函をご案内する。

毎月1回『えんだより』『ほけんだより』『食育だより』を発行する他、必要に応じて発達に関するお知らせを印刷物やメールにてお知らせする。

(2) 緊急時等連絡

災害時対応カードを配布し、早期に引取訓練を実施する他、園としてのメールアドレスを保護者に周知し、保育中の受傷時の連絡や配布物のデータを送信し、ご家庭からの早朝や夜間、休日のご連絡を受け付ける。

(3) 保護者交流会・園開放

年2回の保護者交流会の他、休日に在園のご家庭に短時間、園を開放してお子さんと保護者とが共に交流する場を設ける。

(4) 保護者面談・保育参観

保育参観・保育参加を実施し、ご家庭に日々の保育活動について理解を得る機会とする。また、保育参観や保育参加に合わせて面談を実施する他、クラス担任や支援係による保護者からの要望に応じた育児相談を適宜実施する。

(5) 外部機関との連携

発達や育児に関する気掛かり等から専門的な支援が必要な可能性のあるお子さんやご家庭に対して外部機関を紹介するなどの連携を積極的に行い、お子さんの健全な育ちと保護者の育児を援助する。

(6) 地域支援活動

散歩先の公園などでご一緒する地域のご家庭や他の保育園の方々と、地域で共に子育てをしている意識を共有できるよう、挨拶運動の継続と定着を図る。

感染症の動向に留意しながら、在園のご家庭、地域のご家庭それぞれの交流の場を提供し、地域の子育て支援を行う。

8. 保健衛生

- ・0歳児定期健康診断：12回

- ・ 1-2 歳児定期健康診断：2 回
- ・ 全園児定期歯科検診：1 回
- ・ 園児身体測定：12 回
- ・ 調理および調乳担当職員腸内細菌検査：12 回
- ・ 職員健康診断：1 回
- ・ 職員インフルエンザ予防接種：1 回
- ・ 感染症拡大防止対策
- ・ ほけんだよりの発行：月 1 回
- ・ 職員研修：年 4 回以上
- ・ 園児への保健教育：3 回

9. 防犯・防災・安全

- ・ 避難訓練 12 回、消火訓練 12 回、引き取り訓練 2 回、通報訓練 1 回、不審者対応訓練 1 回以上
- ・ BCP の見直し、安全計画および震災時における時差退社計画の確認と見直し
- ・ 学校 110 番通報装置点検、死角除去カメラメンテナンス
- ・ 防災設備等の保守点検、消防署への協力および報告、自主点検、法定点検
- ・ 非常用飲料水や食糧の確保および点検と喫食
- ・ 消防署見学、園児への防災教育活動

10. 給食・食育

- ・ 0～2 歳児：午前牛乳、昼食、午後おやつ
- ・ 延長児：補食
- ・ アレルギー児への代替・除去対応
- ・ 食育活動：野菜の栽培、野菜の下ごしらえ、行事食、クッキング体験等
- ・ 給食だよりの発行：月 1 回

11. 年間行事

5 月～土あそび、6 月～泥あそび、7～9 月水あそび、
 10 月ハロウィン散歩（2 歳児）、12 月クリスマス会、
 2 月節分行事、3 月遠足（2 歳児）・お別れ会（2 歳児）
 その他、お買い物（2 歳児）、消防署見学（2 歳児）、保育参観・参加など

12. 組織体制

- ・ 別紙「令和 7 年度 職務分掌表」および「職務一覧表（役割と責任）」参照

13. 年間会議予定

- ・ 全体ミーティング：月 1 回：全常勤職員参加
- ・ クラス会議：各クラスにて適宜
- ・ 係（リーダー）会議：各係、主任にて適宜

- ・ 世田谷区私立園長会、世田谷ネット、結の会、駒の学び舎他

14. 職員育成

- ・ 園内研修：年 12 回
- ・ 東京都キャリアアップ研修
- ・ 世田谷区乳幼児教育支援センター研修
- ・ 世田谷区保育課保健研修
- ・ 世田谷区特定給食施設講習会
- ・ 自己評価とフィードバック面談
- ・ その他必要に応じて外部研修等に参加

15. 職員福利厚生

- ・ 独立行政法人 勤労者退職金共済機構 中小企業退職金共済加入
- ・ 世田谷区保育士等处遇改善費の支給
- ・ 世田谷区保育士等宿舍借上げ支援事業
- ・ 公益財団法人 世田谷区産業振興公社ハラスメント相談サービス契約
- ・ ホットヨガスタジオ CALDO 法人契約（8 月以降、契約形態が変更となるため、継続検討中）

16. 施設整備計画

- ・ 防災設備、備品の確保
- ・ 園舎の定期清掃および美化
- ・ 出退勤、入退室システム導入
- ・ 倉庫の賃借
- ・ 家具什器補充

17. 資金計画

- ・ 園運営通常経費は、保育所運営費等で賄う
- ・ 別紙「令和 7 年度 活動予算書」参照

令和 7 年度 活動予算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

株式会社 ソレイユの樹

(単位：円)

科	目	金 額	小計・合計
【A】 経 常 収 益			
1	受取会費		0
	正会員受取会費	0	
	賛助会員受取会費	0	
2	受取寄附金		0
	受取寄附金	0	
	施設等受入評価益	0	
3	受取助成金等		0
	受取補助金	0	
4	事業収益		158,579,000
	保育事業収入	157,943,000	
	保護者負担金収入	636,000	
5	その他の収益		9,280,000
	受取利息	35,000	
	受取配当金	0	
	雑収入	9,245,000	
経 常 収 益 計			167,859,000
【B】 経 常 費 用			
1	事業費		
	(1) 人件費		103,738,850
	給料手当	78,400,000	
	賞与	11,110,000	
	退職給付	0	
	法定福利費	11,105,850	
	福利厚生費	3,123,000	
	派遣人件費	0	
	(2) その他経費	0	44,904,500
	給食材料費	1,658,000	
	保育材料費	544,000	
	児童処遇雑費	2,363,000	
	保育水道光熱費	1,259,500	
	施設機能強化費	154,000	
	荷造運賃	15,000	
	旅費交通費	213,000	
	車両費	77,000	
	通信費	191,000	
	消耗品費	972,000	
	事務用品費	1,372,000	
	修繕費	1,814,000	
	水道光熱費	324,000	
	図書教育費	6,000	
	諸会費	35,000	
	支払手数料	600,000	
	衛生管理費	183,000	
	研修費	68,000	
	地代家賃	26,054,000	
	施設運営向上費	798,000	
	保険料	215,000	
	租税公課	60,000	
	支払報酬料	1,186,000	
	賞与引当金繰入額	4,300,000	
	減価償却費	0	
	繰延資産償却	0	
	雑費		
		0	
		0	
	事業費計	0	148,643,350

2	管理費	0	
	(1) 人件費	0	0
	役員報酬	0	
	役員賞与	0	
	給料手当	0	
	法定福利費	0	
	雑給	0	
	(2) その他経費	0	0
	退職給付費用	0	
	荷造運賃	0	
	人材紹介手数料	0	
	接待交際費	0	
	会議費	0	
	旅費交通費	0	
	通信費	0	
	消耗品費	0	
	事務用品費	0	
	修繕費	0	
	水道光熱費	0	
	図書教育費	0	
	諸会費	0	
	支払手数料	0	
	衛生管理費	0	
	研修費	0	
	地代家賃	0	
	施設運営向上費	0	
	保険料	0	
	租税公課	0	
	支払報酬料	0	
	減価償却費	0	
	繰延資産償却(販)	0	
	雑費	0	
	管理費計		0
経 常 費 用 計			148,643,350
当 期 経 常 増 減 額 【A】－【B】・・・①			19,215,650
【C】 経 常 外 収 益			
	固定資産売却益		
経 常 外 収 益 計			0
【D】 経 常 外 費 用			
	支払利息	43,000	
経 常 外 費 用 計			43,000
当 期 経 常 外 増 減 額 【C】－【D】・・・②			△43,000
税 引 前 当 期 正 味 財 産 増 減 額 ①＋②・・・③			19,172,650
	法人税、住民税及び事業税・・・④		5,752,000
	前期繰越正味財産額・・・⑤		63,251,147
	その他の積立金積立支出・・・⑥		600,000
	保育所施設・設備整備積立資産支出		600,000
	その他の積立金積立支出・・・⑦		13,090,000
	人件費積立資産支出		6,090,000
	修繕積立資産支出		0
	備品等購入積立資産支出		0
	保育所施設・設備整備積立資産支出		7,000,000
次 期 繰 越 活 動 増 減 差 額 ③－④＋⑤＋⑥－⑦			64,181,797